

番号	氏 名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・バウハラ	ネット社会	新型コロナ		その他	講義	ワークショップ	講演	プロフィール・活動状況	対応可能地域
1	赤峯 友子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		デートDV	○		○	大分県人権問題講師団講師(県教育委員会)、大分県地域「協育」サポートリーダー、「笑顔のコーチング」ファシリテーター。消費生活啓発講座講師(アイネス)「人はみんな輝く場所があり、必要とされることで元気になっていく。」人と人を結びつける公民館活動を通して得た、輝く子ども達の笑顔、生き生き元気な高齢者の姿、絆の大切さ、コミュニケーションの力、生きがい作りなど、幸せに生きる方法を一緒に考える講演を行っています。	県内全域
2	足立 直隆	○	○		○									○			犯罪被害者 刑務所出所者 少年非行	○			法務省の矯正職員として38年間、少年院、刑務所で非行少年や犯罪者を指導してきました。その経験を活かして、日本の刑事政策における被害者の人権や刑務所の抱える問題をはじめ、部落差別問題やネットの問題と一緒に考え、行動していきたいと思います。	県内全域
3	阿部 洋子	◎	◎	◎	◎	○	○	○			◎		○	○	○		・子育て中の親を対象にした人権問題 ・新社会人 ・虐待の問題	○		○	元大分市立保育所長。現在、日本子育てアドバイザー協会の認定アドバイザーとして保育教諭等の指導等を行っている。 NP(Nobody's Perfect)プログラムファシリテーター、大分市人権講師団所属 こども園・保育園 保育アドバイザー	県内全域
4	安藤 千恵美		◎	○	◎	◎											身近な人権 音楽と人権 歌の中にある人権	○	○	○	九重町隣保館人権啓発指導員 大分県人権問題講師団(県教育委員会) ピアノ教師	県内全域
5	池田 実	○																○			・ 2022年3月末まで大分県人権尊重・部落差別解消推進課に非常勤職員として4年間勤務した。その間に、部落差別問題、性的少数者の人権問題などについて学び、現在も講演会・研修会を受講したり、関係図書を読んだりして、情報のアップデートに努めている。 ・ 県職員在職中は福祉関係の部署に勤務することが多かった。	県内全域
6	池部 小枝子	◎	◎	◎	◎		○		○			○	◎		○		教育関係	○		○	中学校教諭、教頭、校長を歴任、26年度定年退職。 保護者・教職員を対象に、女性労働問題、男女平等、子どもの人権などの人権研修講師を務めている。 社会教育指導員として、人権講座などの運営に携わっている。「他人事で終わらない」「おかしさに気付く」「自己肯定感を大切にする」の視点に重きを置いた講演。	県内全域
7	石松 リエ			○	○	○					○									○	大分県日田市生まれ。司会者・音楽家(ヴォーカリスト)・うたよみニスト。エホント 代表。2012年に日田在住の3人で「絵本と音楽で心をそだてよう」を掲げエホント を結成。 絵本セラピー、ワークショップ、エンタテイメントを行い、学校や公民館、会社、組合団体等で子育て世代や児童や生徒、学生等のいじめ問題、高齢者虐待など絵本を使って講演やワークショップを行う。特技は老若男女世代を問わず、誰とでもすぐ仲良くなれること。歩くジュークボックス(ただし昭和に限る)そして占いです。	県内全域
8	一法師 英昭		◎														教育関係	○			別府溝部学園短期大学非常勤講師 大分大学非常勤講師	県内全域
9	井上 聡				○			○			○			○	○		国際理解教育 開発教育の視点にたった ワークショップ	○	○	○	中学校指導教諭 生徒・保護者・教職員・事務職員向けにワークショップ型人権研修を行っている。 ・ファシリテーションの視点に立ったワークショップ型研修の展開(H22年度大分市実践記録優秀賞) ・「自己効力感を高める指導の工夫～授業のユニバーサルデザイン化を通して(H26年度大分市実践記録最優秀賞)」	県内全域

番号	氏 名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・パワハラ	ネット社会	新型コロナ		その他	講義	ワークショップ	講義＋ワークショップ	プロフィール・活動状況	対応可能地域	
10	井上 杉夫	○	○	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎		安心・安全(事件事故の被害防止)に関すること。 少年の健全育成に関すること。	○			2020年3月に警察官を定年退職するまで、主に刑事・生安部門で、相談や事件捜査を通して様々な人権侵害に対応してきました。警察官時代に県南落語組合会長の矢野大和氏に弟子入りし、退職後は大和師匠と同じ「口演家」として、安心・安全や、少年の健全育成、人権問題等を、堅苦しくなく笑いにのせてお届けしています。今、日常生活中で発生している事案への現実的な対応方法を警察官時代の経験を通して皆さんにお伝えします。	県内全域	
11	岩川 義枝			○			○				○									○	私は福岡から30年前に結婚を機に大分の地にまいりました。アナウンサーの経験を生かし、司会・講師派遣会社トークオフィスを設立、女性メンバー15名で、年間500件以上の披露宴の司会やイベント司会など担当し、また企業の人材育成講師や大学の非常勤講師として若者の教育・育成に携わっています。また、ロータリークラブ等奉仕活動や『100年の樹 ブルーライトアップ実行委員会』の役員として、自閉症をはじめとする発達障がいの啓発運動を行ってきました。障がい児を持つ母でもあり、障がいを持つお子さんの保護者の相談を受けることも多く、現在は、大分市議会議員としても活動をさせていただいております。このような経験を生かし、コミュニケーション講座を中心に、女性の人権や障がい者の人権等をテーマにお話をさせていただいております。	県内全域	
12	江藤 裕子			○	◎		◎		○								障がいはい「発達障がい」 薬害肝炎当事者として 病気の子どもを持つ親として DVの家庭に育って	○		○	H22.6にNPO法人「共に生きる」を設立。 現在、ふたりの息子の発達障がいに関わり添った経験を活かし発達障害当事者会、電話相談、個人面談、発達障害啓発講演会を開催する。R4.4 法人解散 任意団体となる。	県内全域	
13	大久保 和則	○	◎	○	○	○	○	○		◎	○	◎	◎	○					○	○	○	現在、宇佐市社会教育指導員として安心院中央公民館に勤務しています。 元NTT西日本大分グループ人権担当 NPO法人アンリッシュ事務局長（人権・部落差別問題に取り組む） ※アンリッシュとは束縛からの解放のことです。	県内全域
14	大滝 弘子	○									◎									○	○	大分市生涯教育指導者、人権啓発団体“ブブラ”所属、講師歴17年 いけばな教室(小原流一級家元教授)や人権啓発ワークショップを開催。	県内全域
15	大塚 瑞恵			○							○		○					○	○	○	色彩心理セラピスト、カラーアナリスト、色彩心理ファシリテーター、色彩福祉アドバイザーとして活動。クレヨン等色を使ったコミュニケーション手法をワークショップも行って指導。	県内全域	
16	小野 一信	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	◎		○	○	○	◎			○		○	38年間教職生活を続けてきました。その後退職して2年間は玖珠町隣保館に社会教育委員として勤務し、広く町民に対して人権講演を行ってきました。さらに5年間は玖珠町教育委員会に部落差別解消推進指導員として勤務し、教職員や役場職員を中心に、人権研修を行っています。人権が大切にされる町づくりの推進に向けて、人権擁護委員(2期目)としても、その一翼を担い、努力しています。	県内全域	
17	片倉 誠二	○	○			○					○	○						○			大分みらい信用金庫に43年間勤務、金融内部監査士 株式会社GARYU ケアサポート学院 理事長 介護職員初任者研修 講師	大分市周辺	
18	河野 龍児						◎										防災…災害時要配慮者支援について		○		(株)リフライ取締役副社長、地域相談支援センター湯羽花で、相談支援専門員として高齢者・障がい者を支援。車椅子体験や障害者の人権について等学校訪問ワークショップ。別府市インクルーシブ防災…災害時要配慮者支援の取り組み。 障害者職業生活相談員資格認定、県身体障害者相談員協会副会長 別府市北部身体障害者福祉協会会長、別府市障害者自立支援協議会委員 (一般社団法人)福祉フォーラムin別府連見実行委員会代表理事	県内全域	
19	木村 瞳		◎	○		○													○		○	国東市隣保館指導員	県内全域

番号	氏 名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・パワハラ	ネット社会	新型コロナ			その他	講義	ワークショップ	講義＋ワークショップ	プロフィール・活動状況	対応可能地域
20	國崎 景園			○	○		○			◎									◎	○	関係している団体 ・プラン・インターナショナル・ジャパン…女性の人権、児童婚、FGM、名誉殺人等の撤廃 ・ACE…児童労働、児童婚、児童人身売買等の撤廃 日常の活動 ・エイブルアート SOGI ワークショップ＋デートDV等 ・由布市人権・部落差別解消推進課川上地区集会所 絵画教室	県内全域	
21	河野 昭三	○	○	○	○	◎	○		○		◎	◎	◎	○			メンタルヘルス アサーション アンガーマネジメント	○		○	2018年までの15年間、大分職業能力開発サービスセンター(職能協会内)の人材育成コンサルタントとして、県内各企業の人材育成支援をして来ました。その後も、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、健康生きがい作りアドバイザーとして、県内各地でカウンセリングやいろいろなテーマの講演活動を行っています。	県内全域	
22	河野 民子	○					○				◎									○	○	厚生労働大臣公認手話通訳士 大分県聴覚障害者協会認定手話通訳者 登録手話奉仕員研修講師・手話通訳士養成講座講師 手話通訳者養成講座講師 手話通訳者として活動	大分市、別府市等近隣 中津・宇佐 方面も可
23	小島 典子	○	○																○	○	○	日田市人権・部落差別解消推進課に勤務しながら、知識習得に努めています。部落差別問題をはじめとする人権問題について、絵本を通し、マジョリティとマイノリティの関係から、差別解消のヒントを見つけ出していきたいと思っています。	日田市内
24	児玉 隆志	○	○			○													○			津久見市人権対策室長→2019年4月～長寿支援課長→2021年3月退職 介護老人保健施設つくみかん 事務長(2023年4月～) 津久見市職員研修会の講師 津久見市人権・部落差別解消推進保育連絡協議会研修会の講師	県内全域
25	後藤 史明	○	○				○			○									○			自分で学んだ人権課題について、分かりやすく説明することに重点をおいて研修を組み立てます。活動状況としては、市職員や市内の団体に対して行う研修を担当しています。	県内全域
26	近藤 浩二	○																	○			豊後高田市職員。 「差別していない私」から「差別をなくす私」になることを考えながら学び続けています。	県内全域
27	佐藤 淳子				◎														○		○	「高校生のためのサードプレイス」＝家庭でもない学校でもない第3の居場所を運営しています。平日は高校生に安心して過ごせる場所を開放し、週末はボランティア活動、体験活動、高校生向けの講座を企画運営しています。対話や活動を通して高校生たちの心境の変化や成長を目の当たりにし、私たち大人が高校生をエンパワメントする必要性を強く感じています。他に「子どもアドボケイト活動」も行っています。	県内全域
28	佐藤 康雄	○	◎		◎	○				◎	◎		◎	◎	○		傾聴力養成 人に合わせたコミュニケーション方法 アサーション ハラスメント アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)		○	○	○	自分の体験を通して身近な人権や高齢者、ハラスメント、SNSインターネットによる人権侵害など、実際に被害に遭った当事者が具体的に分かりやすく話させて頂きます。1人ひとりの認識が深まり、人と人の繋がりの中で、地域や職場での問題解決へのヒントが見つかり、笑顔溢れる社会へと変化するお手伝いができればと思っています。	県内全域

番号	氏 名	人権総論	題部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・パワハラ	ネット社会	新型コロナ			その他	講義	ワークショップ	講義＋ワークショップ	プロフィール・活動状況	対応可能地域
29	重石 多鶴子			○	○	○					○		○						○	○	○	誰もが幸せに生きる権利をもっています。誤った認識や無意識によって誰かの人権を侵害してはいないでしょうか。みんなで振り返る機会を作っていきましょう。 (R6年度 活動実績) ・保育所・認定こども園での職員対象人権研修(講演) ・小学校・中学校での「いじめ防止授業(文化庁助成事業)」(参加型授業) ・地区公民館主催 中・高校生対象人権研修(ワークショップ) (所属・資格等) 人権擁護委員(大分地区協議会所属) ※人権相談 子どもアドボケート(大分大学権利擁護教育研究センター所属) ※子どもの意見表明支援 スクール・オブ・プレイバックシアター日本校講師 ※演劇手法による共感の場づくり	県内全域
30	進 美保子	○		○	○	○				○	◎	○	○	○			感情のコントロール、自己肯定感、自己受容、メンタルヘルス、アンコンシャスバイアス、アンガーマネジメントなど		○	○	○	人権擁護委員(大分市)。大分県人権問題研修講師団講師(県教育委員会)。企業研修(人材育成・社員教育・ビジネスマナー)、就職支援、講演を行っています。人とのかわりで大切なのが「自分の状態」です。行動や言動を左右する「感情」の存在を知ることで、振り回されることなく自分軸で冷静に向き合えるようになります。笑いをプラスして、楽しみながら受けていただくことで、記憶にのこり日常に活かせる内容となっています。落語を題材にした「答えは落語の中にあった」シリーズなどちょっと違った視点で、泣いて笑って心開いて、感情を味方に、自分も相手も周囲も大切に。人生をより良く生きるヒントをぜひ手にしてください。※ご希望にあわせて(下手ですが)落語もします。	県内全域
31	杉野 由希			○															○			令和5年より人権に携わる仕事に就きました。 仕事を通して地域の方、子ども達と関りが多く、自分が学んだことを伝えていく活動を今年度は考えています。これからも人との繋がりを大切に精進していきたいと思います。	日田市
32	須藤 里美			○	○	○	○												○	○	○	～笑顔と元気をお届けする「幸せ宅配便」ハッピー里ちゃん～のフレーズ通り、明るく、楽しく、わかりやすい講座です。 絵本の読みきかせを軸に、人権講演の活動を行っています。 (ダウン症のいとこがいることで、障がい者に対する偏見などがなくなることを願ってます。)	県内全域
33	田浦 淳一					○	○												○			高齢者分野(認知症中心)、障がい者(就労系、居住系)、障がい児(放課後等デイサービス)、相談支援専門員としての相談業務等の経験が30年あります。 初任者研修、実務者研修、強度行動障害支援者養成研修、同行援護従業者養成研修の講師もおこなっています。	大分市中心部から90分以内
34	高橋 隆代			○	◎		○														○	整理収納・お掃除サービス トノエル代表 ハウスキーピング協会／整理収納アドバイザー認定講師 発達障害住環境サポーター 内閣府／子ども若者育成支援のための青年リーダー エフフィールド／いのちの授業認定講師 遺品整理士	県内全域
35	高橋 智秀	○			○	○	◎						○						○	○	○	社会福祉士、福祉施設士、防災士 社会福祉法人みずほ厚生センター 法人本部 本部長 臼杵市地域自立支援協議会 会長 臼杵市介護保険運営協議会 委員 認定 特定非営利活動法人 おおいた成年後見権利擁護支援センター 副理事長 特定非営利活動法人スマートライフネットワーク 理事 大分大学非常勤講師、別府大学非常勤講師、日本福祉大学非常勤講師 公益財団法人 大分県社会福祉士会 副会長	県内全域
36	詫摩 千晴			○	○					○	○	○		○					○		○	開業助産師。性教育認定講師。	県内全域
37	竹上 智香			○	○					○							包括的性教育		○			保育士・幼稚園教諭/助産師/4児母 大分県内外の幼稚園、保育園、学童保育の勤務を経験したのち26歳で看護学校に再入学をし、看護師・助産師の免許取得。大分市内の産婦人科に勤務。地域の母子にもっと寄り添いたいという思いから2022年4月に産前産後ケアサロンtitiを開業し、新生児からの一預かりを中心として活動中。保育園の子どもたちや保護者の方、こども園の職員研修、小・中・高校生向け、放課後デイ職員・施設職員向けなど幅広い世代へ包括的性教育を行っている。	県内全域

番号	氏 名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・パワハラ	ネット社会	新型コロナ		その他	講義	ワークショップ	講演・シンポジウム	プロフィール・活動状況	対応可能地域
38	田坂 義巳	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○					○		○	公立小中学校教諭、教頭、校長勤務。その後玖珠町商工会事務局長を5年勤め、昨年度より玖珠町社会教育指導員として人権研修講師として活動中。 現在、大分大学教育学部非常勤講師として、3年4年の学生への指導にあたっている。 玖珠郡部落史研究会会長(10年目) 大分県教育総合研講師として現役の教師集団へ部落問題を中心に講演活動。	県内全域
39	立花 憲一	○	◎			◎	○					○					隣保館の役割 2級課程ホームヘルパー初任者研修(職業倫理)	○		○	元日田市同和対策室長・福祉事務所長 定年退職後、日田市社会福祉協議会事務局長、日田市京町地区集会所長(隣保館)を歴任、隣保事業士 日田市同和対策審議会委員、日田市「人権」に関する市民意識調査実施委員、日田市人権研修講師	日田市
40	利満(正) くにか	○		○	○						◎		○				人間関係 いじめ問題	○	○	○	生涯学習の場としてNPO「座・いきだよ」を主宰し50年。人権いじめ問題講師として、これまで県の内外で300回以上講演 カウンセリング、コミュニケーション等を通して、人生とは何か？を考えて、自己決定して生きる大切さを考えるワーク、講座 ◎人間関係における→自分の内側のバランス関係と距離感 安心・安全・幸せに生きることをモットーとしている。	県内全域
41	中井 則夫	○	○	○	○	◎											気づきの発見			○	1956年茨城県行方市生まれ 二松学舎大学文学部卒 教育吟詠緑村流 元千葉県習志野市立習志野高校教諭 社会福祉法人みのり村職員(社会福祉主事)、国東市防災士	県内全域
42	那須 祐介	◎	◎	○	○		○		○				◎	○	○			○		○	県職員として知事部局の全ての部を経験し、様々な県民と向き合って課題解決に对峙してきた。特に人事課、青少年・男女共同参画課、こども子育て支援課、観光振興課、NPO活動支援担当として経験した人権の大切さや具体的な人権侵害事例に対応した経験を啓発に生かしていきたい。また、入庁後35年以上の間、年間2回以上は様々な研修で人権研修を受講しており、そこでの受講経験も活かしていきたい。 また、自身がパワハラの被害を受けた経験があり、そこから派生する様々な要因や課題なども説明したい。	県内全域
43	西田 数子	○		◎	○	◎			◎			○	◎		○		デートDV パワハラ モンスターパシエント ジェネレーションギャップ	○			東京アカデミー講師 藤華医療技術専門学校教員 助産師、ストレスチェック実施者 大分県男女共同参画審議会委員 産業カウンセラー	県内全域
44	西村 慶治	◎		○	○	○	○				◎	◎	◎	○			ブライバシー保護、 職場における人権問題、人権意識や自己の振り返り等	○	○	○	特定社会保険労務士・キャリアカウンセラー西村慶治事務所代表、大分市生涯学習指導者、1級販売士、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント(国家資格)、大分県普及指導協力委員、ギタリスト。	県内全域
45	波多野 裕美			○	◎						○			○						◎	●(一財)日本キッズコーチング協会本部講師 ●しつもんメンタルトレーナー。 子ども、大人それぞれに向け、個性の発見や成長、様々な背景や特性を尊重する等、人権の原則に対して心理学、コーチング、言葉がけのスキルを使う講座を開催。 【講演活動】子育て講演会、思春期講演会、日本教育学会大分支部勉強会・保育士向け勉強会、子ども会リーダー研修、他。 【体験活動】一時保護所での子どもアドボケイト活動、個性を見つける体験イベント(スポーツ鬼ごっこ、アート、野外活動など)助成金事業主催、就労支援施設勤務(不定期)	県内全域
46	原田 英夫	○	○							○	○		◎				アンコンシャスバイアス	○		○	医薬品総合商社の人事部門を中心に34年間勤務した後、現在竹田市社会教育指導員として勤務。 「知る」から「(行動が)変わる」ことを目的とし、「考える」研修を目指す。	県内全域
47	匹田 久美子	◎	○	◎	◎	○				◎	◎		○					○	○	○	一人ひとりの違い(多様性)こそが、社会(地域や組織)の力になることを伝えたいです。	県内全域

番号	氏 名	人権総論	題部落差別問	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・バウハラ	ネット社会	新型コロナ			その他	講義	ワークショップ	講演・シンポジウム	プロフィール・活動状況	対応可能地域
48	久住 真和	◎	○	○	○	○	◎				○		○	○	○			消費者問題と人権 「破戒」から考える差別のメカニズム ダイバーシティ(多様性)研修 発達障がい支援 エイジズム(年齢差別)	○	○	○	本読む「気づき」の伝道師、社会福祉法人職員、消費生活アドバイザー、大分県発達障がい者支援専門員、第一種衛生管理者、情報処理技術者(情報セキュリティマネジメント)。組織内外の人権のあり方が関心事。 趣味で近代に活躍した人物の評伝などに親しんでいる。特に、郷土の先哲である福澤諭吉の思想や作家 野上彌生子の著作には、人権に関する気づきや学びの素材が多くあると感じている。 活動を通して皆さんと学びの楽しさを共有したい。	県内全域
49	福村 計幸	○																	○			元心理相談員、元高等学校評議員、キャリアコンサルタント、防災士、衛生工学衛生管理者、 情報処理技術者(初級システムアドミニストレーター)	国東市以外
50	布施 順子	○		○	○		○		◎				○						○	○	○	2016年、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構にて障害者職業カウンセラー職として勤務。障がい者雇用に係る業務(就職活動支援、職場定着支援、事業主・関係団体の相談)に従事。 2022年に退職後、公認心理師 取得。 2023年2月『お悩みコンシェルジュEndne』を立ち上げ、当事者としてLGBTQに関する事業を始める。 2024年大分県『みんなで知る性の多様性「おいたにじいるブック」』監修を務める。	県内全域
51	牧野 久美子		◎																○		○	宇佐市隣保館に指導員として勤務。 地域において小・中・高校の学習会に参加。	県内全域
52	松木 和美	○		◎	◎						◎		◎					傾聴力養成 子育て支援 女性のエンパワーメント	○	○	○	心理カウンセラー(日本カウンセリング学会所属) 大分県男女共同参画審議会委員 大分県デートDV防止セミナー講師 現在実施中の講座「女性のためのエンパワーメント講座」「親子のコミュニケーション講座」「傾聴セラピスト養成講座」「体罰によらない子育てスキル講座」「ハラスメントと人権尊重社会」「人権が守られる社会をバトンタッチ」「共感的傾聴と相対対応時の留意点」等 H28 大分県知事表彰／R元 大分県家庭裁判所 所長表彰／R2 最高裁判所長官表彰	県内全域
53	マックビーン 光子	○	○	◎	○	○	○	◎	○	◎	◎		◎	○	○			アサーション	○	○	○	「一人一人が笑顔で輝いて生きる」をテーマに、40年間のカウンセリング経験を活かし、「笑顔・感動・ほめる」をベースにしたわかりやすい内容で、参加者がハッピーな気持ちになっていただけるような人権講演です。	県内全域
54	松縄 英孝	○	○	○	○					○								スポーツと人権 ジェンダーと平等女性の人権 ・ことばと人権感覚	○	○	○	杵築市職員を退職後、市の社会教育指導員を5年間務め、その後大分県人権問題講師団講師(県教育委員会)となり、市内外の研修に行っている。 スポーツが好きで、陸上、弓道、テニスなど、毎日ほとんど行っている。 人権を学ぶことは、人格を向上させるをモットーに日々学習を続けている。	県内全域
55	三重野 真美				○					○	○							包括的性教育	○		○	・大分市を中心に包括的性教育の講座や啓発活動を行っています。 ・包括的性教育は狭義の意味の二次性徴や生殖に関する話ばかりではなく、人と人との関係性の話や心の土台が含まれた世界基準の教育です。 ・対話やワークも取り入れながら行っています。 ・大人向け講座、親子講座、教職員研修、個別相談を行っています。 主な経歴：大学病院を12年勤務した後、看護学校教員を経験し、その後3人の子供の子育て中に包括的性教育を学んでいます。思春期保険相談士、日本思春期学会認定性教育講師。	県内全域
56	御手洗 祥子			○	○	○	○			○	○		○						○		○	産業カウンセラー、ストレスケアカウンセラー 「幸せになるために産まれてきた」をベースに、笑顔になり、温かな気持ちになるような優しい講演をお届けします。	県内全域

番号	氏 名	人権総論	部落差別問題	女性	子ども	高齢者	障がい者	外国人	医療	性の多様性	コミュニケーション	企業の社会的責任	セクハラ・バウハラ	ネット社会	新型コロナ			その他	講義	ワークショップ	講義＋ワークショップ	プロフィール・活動状況	対応可能地域
57	御手洗 洋子	◎	○	○	◎			○		◎	○								○		○	様々な人権課題から、受講者と一緒に、自分ごとの「人権」、「差別の根っこ」を考えていきます。大分県庁での人権行政担当(2021～2022年度)、県職員を対象とする相談業務や、子どもの声を聴くボランティア活動での経験等をもとに、人権や傾聴の大切さを伝えるとともに、一人ひとりの「行動」で、誰もが生きやすい社会に変えていくことを、受講者の皆さんと一緒に考えたいと思っています。	県内全域
58	南 由美子				○	◎	○				◎	◎	◎						○	○	○	サービス業のOJT現場指導、企業内の組織コミュニケーション、発声と表現力と笑顔で組織活性化など階層別研修もします。職場での人間関係の円滑化を進めます。食育活動、健康づくり教室の指導者で、高齢者の問題にも取り組んでいます。食と運動でフレイル対策や健康の講話もしています。大分県中小企業支援アドバイザー、大分市民健康づくり運動指導員、食生活改善推進員、健康推進員。広い視点で問題を解消することに努めます。	大分市内
59	峯松 徹		◎					○						○					○			2005年より杵築市隣保館指導員として勤務(2010年隣保事業士資格取得)様々な研修により得た知識と指導員として得た活動経験をもとに現代の部落差別問題に日々関わり、啓発を行っています。	県内全域
60	見矢野 あけみ		○																○			豊後高田市社会教育指導員 国東市職員全体研修 部落差別解消教育研究大会(杵築市)にて体験談	県内全域
61	矢野 眞一郎	○			○	○	○				○			○							○	1961年11月20日生まれ 佐伯市出身 子供 男2人女2人 終活ケアプランナー、身上監護アドバイザー 福祉の学び舎アップワン 統括責任者 介護研修にて人権講座担当	県内全域
62	矢野 妙子			◎	◎				○	◎	○								◎		○	病院、産婦人科クリニック勤務を経て2017年やの助産院を開設。産後ケア、母乳育児支援・育児相談を中心に活動、同時に看護師として地域医療にも携ってる。また、県内の小、中、高校、大学での性教育に関する講演や性の知識を学べるイベントの講師を務めている。(保有資格)・助産師 ・産後ケア実務助産師 ・受胎調節実施指導員 ・看護師 ・イトオテルミー療術師(温熱療法) ・防災士	県内全域
63	山田 政枝			○		○													○			職場や家庭における男女平等と公平の違いに関心を持っており、これまでの実体験をもとにお話できればと考えています。	大分市内
64	山本 政信		○		○										○		ハンセン病		○			2015年度から、日田市の北友田三丁目地区集会所で、部落差別問題を始め、様々な人権問題を勉強し、啓発活動を行っている。	県内全域
65	山本 裕子		○			○				○	○										○	認知症サポーター養成研修講師、認知症介護実践者研修講師、認知症介護実践リーダー研修講師、NPO法人 さわやか佐伯所属、社会福祉士、介護支援専門員、介護福祉士 幼少期から家族の認知症介護を体験する。当時は「認知症」や「ヤングケアラー」と言う言葉もない中、誰に何を相談したらいいのかを悩みながら学生時代を過ごす。その経験から、少数派の当事者が社会で生きやすい社会への一助になればらと思い、人権啓発講師として活動している。	県内全域
66	雪松 太樹				○	◎	○	○					○						○	○	○	職歴等:福祉関連の現場業務や管理運営経験を経て、現在は介護等研修講師、外国人支援団体(監理団体所属)を行っております。	県内全域
67	吉本 寛子			◎	○					○			○						○	○	○	NPOえばの会 (https://ebanokainpo.wixsite.com/index)代表 差別や暴力などを受けている女性、子ども、LGBT等の支援、DV・デートDV防止啓発に取り組んでいる。 社会福祉士、精神保健福祉士、大分県男女共同参画審議会委員 「大分県人権尊重社会づくり推進功労賞」「大分県女性のチャレンジ賞」	県内全域